「9 がつく日」自転車ニュース
平成２６（２０１４）年８月８日　No. ２８

9 が つく日は
自転車の空気をいれよう!

独立行政法人国民生活センターの発表

ペダルなし二輪遊具による坂道の事故に注意
～衝突や転倒により幼児がけがを負う事故が発生～

ランニングバイク、トレーニングバイクと呼ばれる足で地面を蹴って走る『ペダルなし二輪遊具』ですが、この商品には、ペダルがついておらず、ブレーキがないタイプが主流なため、坂道で使用するとスピードがでてしまいます。今年(平成 26 年)になり、4 歳の子どもが長さ 7mのスロープを下って転倒。植込みの枝が顔に刺さり重傷を負う事故が起きてしまいました。医療機関ネットワークの調査では、怪我を負った事例が 2010 年 12 月から 2014 年 4 月までに 18 件あり、そのうち、11 件が「坂道で止まれずに転倒した」、「障害物と衝突したりして受傷した」といった、坂道での事故でした。

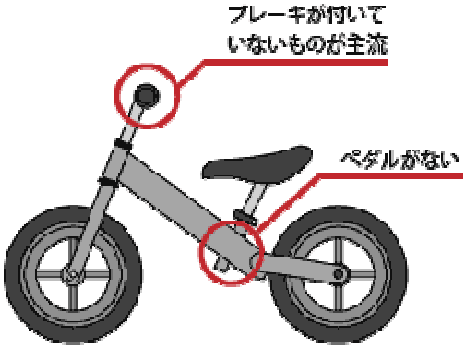
『ペダルなし二輪遊具』は、主に 2 歳以上の幼児が自転車に乗る前にバランス感覚を養うために利用されています。ペダルがないので自転車ではありませんが、『ペダルなし二輪遊具』の競技大会が日本各地で開催されるなど、幼児や保護者にとても人気があります。このため、この商品の販売を始める自転車店が増えてきています。

幼児は夢中になって、一途に『ペダルなし二輪遊具』の練習をします。そして、自宅から公園などへの移動中に、公道で乗っている姿も見受けられるのですが、取扱説明書では公道での使用を禁止しています。

これからも楽しい遊具として利用するには、『ペダルなし二輪遊具』の特徴を保護者がよく理解するために、取扱説明書を必ず読むようにしましょう。

＜国民生活センターから消費者へのアドバイス＞

1. ペダルなし二輪遊具で坂道を滑走してしまった場合、傾斜によっては短い距離でも大人が追いつけない速度になります。坂道では絶対に使用させないようにしましょう。
2. ペダルなし二輪遊具は、坂道や公道などでは使用が禁止されています。取扱説明書の内容を確認しましょう。
3. ペダルなし二輪遊具は子どもだけで使用させず、必ず保護者等が立ち会い、慣れた場所でも子どもから目を離さないようにしましょう。
4. 日常からヘルメットを必ず着用させましょう。



ペダルなし二輪遊具の外観的な特徴

出典：平成 26 年 7 月 3 日付国民生活センター報道発表資料より抜粋

取扱説明書をよく読んで、ペダルなし二輪遊具を利用しよう！

＜自転車流通研究会　事務局＞
一般財団法人自転車産業振興協会　事業部
〒141-0021 東京都品川区上大崎 3−3−1 自転車総合ビル 4 階
電話 ： 03-6409-6922　　FAX ： 03-6409-6868
Ｅメール ： http://www.jbpi.or.jp/9ki のお問い合わせフォーム